

報道関係各位

2022年2月14日

カリフォルニアワイン・バイザグラス・プロモーション 2022
2022年4月1日(金)～5月31日(火)
今年のテーマ産地は、米国最大のワイン産地「ローダイ」

カリフォルニアワイン協会 (California Wine Institute、略称 CWI) は、2022年4月1日(金)から5月31日(火)までの2か月間にわたり、全国で「カリフォルニアワイン・バイザグラス・プロモーション 2022」を実施します。

バイザグラスとは、レストランなどの料飲店で、ワインをボトル単位ではなくグラス単位で販売することです。プロモーション参加店は4月から5月の定休日を含む任意の3週間以上、常時2種類以上のカリフォルニアワインをグラスで販売します。既定の条件に則った販促活動を行った上、期日までに実施報告書を提出した店舗の中から、特に優秀な上位6店舗を選出します。ワインの仕入れ本数及び金額での定量評価で4店舗、取り組み内容での定性評価であるグッドエクスペリエンス賞2店舗を選出します。賞の詳細については、下記リンクの飲食店対象ページもしくは添付のパンフレットの「審査及び優秀店・特別賞の選出」の項をご参照下さい。<https://calwines.jp/btg22/b2b/>

今年のテーマ産地は、「ローダイ(Lodi)」です。ローダイは、1850年代からワイン用ブドウを栽培しており、ナパやソノマにブドウを供給してきた米国最大のワイン産地です。樹齢50年以上の古木のブドウ畑が多い一方、近年様々な産地由来のブドウから数多くの高品質ワインも生み出しています。全参加店の中からローダイのワインの販促に最も注力した2店舗に、特別賞として「ローダイ・グロワーズ賞」(同団体提供)を贈呈します。



一昨年のナパ・ヴァレー、昨年のソノマ・カウンティと、テーマ産地を設けて今年で3年目になりますが、参加店が来店客にバイザグラスで産地の比較を促し、カリフォルニアワインの多様性に触れる楽しさを提供する良い動機付けとなっています。

審査結果は6月24日(金)以降にCWIからのEメール、特設ウェブサイト、公式SNS及びプレスリリースを通じて発表、表彰式は、7月19日(火)午後を実施します。

「カリフォルニアワイン・バイザグラス・プロモーション」は、カリフォルニアワイン協会が1995年以来毎年継続して実施している施策です。複数の料飲店がカリフォルニアワインをグラス売りすることで消費者がトライアルしやすい環境を提供し、認知拡大に大きな成果を上げて来ました。参加店が競って良い成果を出そうと努力するため消費者の楽しみとして定着し、参加店にとっても大きな商機となっています。近年は緊急事態宣言発令やまん延防止措置により、プロモーション遂行が困難となるケースもありましたが、飲食業界の一助となるべく、本年も可能な限り実施する方針です。

プロモーションの参加店詳細は、3月25日(金)に公開予定の特設ウェブサイトに掲載されます。

<https://calwines.jp/btg22/>

カリフォルニアワイン協会(本部・カリフォルニア州サンフランシスコ)は、1,000 社を超えるカリフォルニアのワイナリー及びワイン関連企業から構成される非営利団体で、ワインの生産や流通や消費に関する政策的な提言を行っています。輸出プログラムにおいては、世界 13 か国に事務所を置き、重要な市場情報の提供及びプロモーションを支援しています。ワイン業界関係者・メディア・消費者向け試飲会の実施などをサポートしており、毎年 175 以上のカリフォルニアのワイナリーが当プログラムに参加、142 か国にワインを輸出しています。日本事務所は、カリフォルニアワインの普及促進、日本市場における関税、非関税障壁の監視などを目的に 1985 年に設立されました。

以上

<p>この件に関する読者からのお問合せ先 カリフォルニアワイン協会日本事務所 E-mail : info@calwines.jp 電話番号 : 03-6629-3658</p>	<p>この件に関する報道関係者様からのお問合せ先 KONDO SAORI OFFICE 近藤 さをり E-mail : saori@saorikon.com 電話番号 : 080-7011-5747</p>
---	--